

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	旭松食品株式会社					
代表者名	氏名	木下 博隆		役職名	代表取締役 社長	
主たる事務所の所在地	長野県飯田市駄科1008番地					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	09 食料品製造業				
主たる事業の概要	凍豆腐製造・即席みそ汁製造・医療用食品製造・その他大豆加工食品製造					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	4,910	4,615	4,563		
エチギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	10,533		9,644		
調整後排出量	t-CO ₂	10,533	9,901	9,644		
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0		
自動車の台数	台	22		22		
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	45				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2022 年度	計画期間	2023 年度～ 2025 年度
報告対象年度	2023 年度		

3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	弊社本店において、事前に閲覧申し込みをいただき、閲覧可能と判断した方に対し、弊社の指定した日時にて対応。（9:00～17:00）
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	問い合わせ先 弊社本店内技術開発部（エネルギー管理推進責任者）電話番号 0265-26-6494
<input type="checkbox"/>	その他	

様式1号 (総括票)

4 温室効果ガスの排出の量の削減のための基本方針

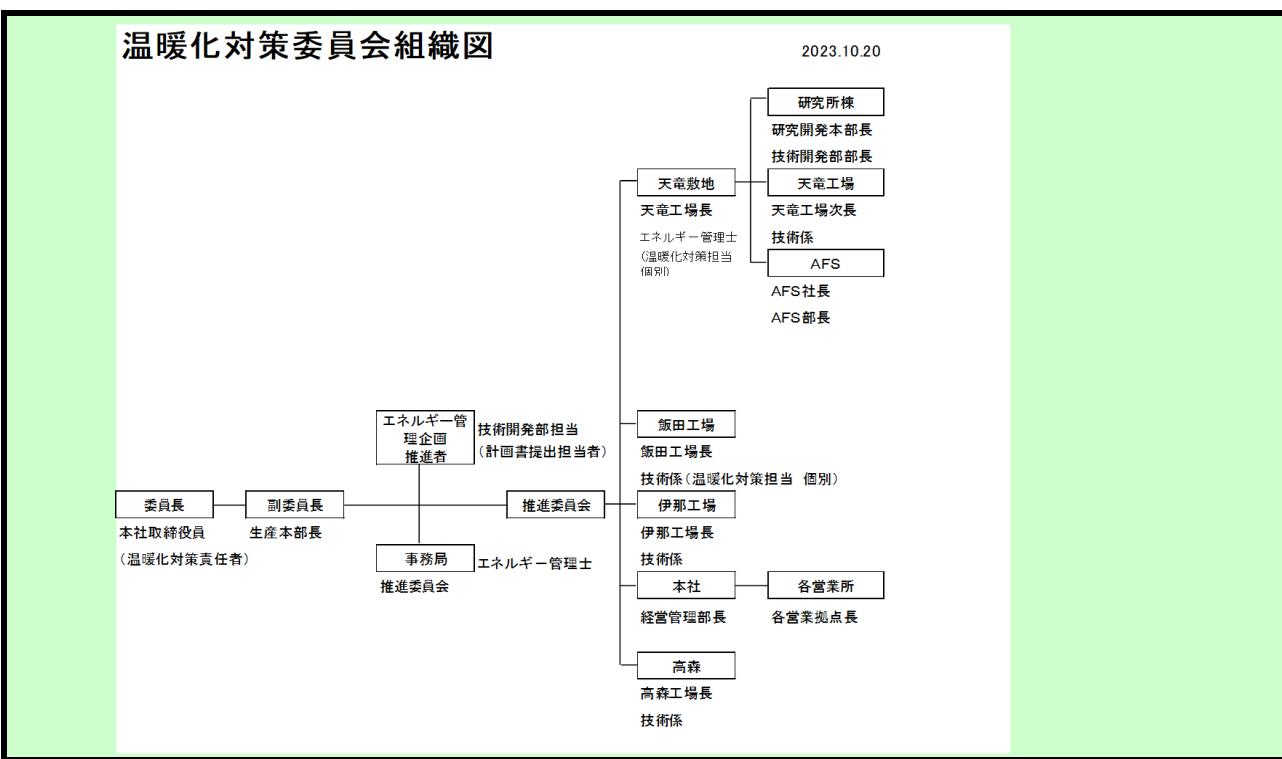
1. 無駄を排除し、無理なく長続きできる省エネ対策を推進する。
 2. ピークを見定め、必要な時にしっかり節電（ピークカット）推進する。
 3. 目標＝年2%の原単位エネルギー使用率の改善

ムダの排除を徹底するとともに、経済的にもメリットのある省エネ対策をCO2削減の視点も踏まえ、徹底し定着させていく。

2050ゼロカーボンに向けた中長期的な目標等

目標等の有無	有	目標年度	2030	年度	削減目標	温室効果ガス排出量対前年2%ずつ削減（2020年比20%削減）
削減計画の概要	弊社中長期計画及び実施計画書に基づき2030年まで毎年対前年2%のエリギーの削減を計画している。 ※中長期計画によるエリギーの使用合理化と使用電気全体に占める非化石の比率を15%にする非化石エリギー転換への計画					
イニシアチブ参画状況	<input type="checkbox"/> SBT	<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/> RE Action	<input type="checkbox"/> 再エネ100宣言	<input type="checkbox"/> その他	

5の1 温室効果ガスの排出の量の削減のための組織体制



5の2 温室効果ガスの排出の量の削減のための会議体等の名称及び開催頻度

全社省エネ、温暖化会議（年4回開催）

担当者会議（毎月）

様式1号 (総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出の量の削減に係る目標及び実績

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出の量の削減に係る目標及び実績

基 準 年 度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位	
2022 年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目 標 年 度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2025 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2023 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2024 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2025 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式 1 号
(総括票)

6 の 3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出の量の削減に係る目標及び実績

基 準 年 度	基 準 排 出 量	45	t-CO ₂			単 位	
2022 年度	調整後排出量			基 準 原 单 位		t-CO ₂ /	
目 標 年 度	目 標 排 出 量		t-CO ₂	目 標 原 单 位		t-CO ₂ /	
2025 年度	目 標 削 減 率		%	目 標 削 減 率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排 出 量		t-CO ₂			単 位	
	調整後排出量			原 单 位		t-CO ₂ /	
2023 年度	削 減 率		%	原 单 位 削 減 率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排 出 量		t-CO ₂			単 位	
	調整後排出量			原 单 位		t-CO ₂ /	
2024 年度	削 減 率		%	原 单 位 削 減 率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排 出 量		t-CO ₂			単 位	
	調整後排出量			原 单 位		t-CO ₂ /	
2025 年度	削 減 率		%	原 单 位 削 減 率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基 準 年 度	実 施 予 定	第一 年 度	第二 年 度	第三 年 度	備 考
I ~ II	I -1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I -2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

8 排出の量の削減目標達成のための具体的な措置

番号	区分	設備等	対策内容	計画		状況	
				実施予定年度	削減見込量(t-CO ₂)	実施年度	推計削減量(t-CO ₂)
1	エネ起	一般管理事項	生産工程のエネルギー管理	2023～2025	90	2023	45
2	エネ起	一般管理事項	エネルギー使用量の管理	2023～2025	70	2023	25
3	エネ起	一般管理事項	主要設備等の保全管理	2023～2025	80	2023	35
4	エネ起	一般管理事項	計測及び記録の管理	2023～2025	60	2023	20
5	エネ起	熱源設備	冷凍機の効率管理	2023～2025	70	2023	20
6	エネ起	空調機	空気調和設備、換気設備に係る対策	2023～2025	50	2023	30
7	エネ起	コンプレッサ	コンプレッサー吸気温度上昇の抑制	2023～2025	50	2023	10
8	エネ起	コンプレッサ	高効率コンプレッサー更新	2023～2025	30	2023	0
9	エネ起	ファン・プロア	プロアー高効率機種更新	2023～2025	60	2023	0
10	エネ起	照明設備	照明設備の運用管理	2023～2025	40	2023	15

9 再生可能エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

再生可能エネルギー源	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光	kW	0	1,314	1,175		
水力	kW	0	0			
風力	kW	0	0			
バイオマス	kW	0	0			
太陽熱	kW	0	0			
その他	kW	0	0			
蓄電設備	kWh	0	0			

10 再生可能エネルギー電気等及びクレジットの利用の計画及び状況

種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書(電力)	千kWh/年					
うち県内産	千kWh/年					
グリーンエネルギー証書(熱)	GJ/年					
FIT非化石証書 非FIT非化石証書(再エネ指定)	千kWh/年					
うち県内産	千kWh/年					
J-クレジット	t-CO ₂ /年					
県が認証したクレジット (森林CO ₂ 吸収評価認証制度等)	t-CO ₂ /年					
再生可能エネルギー電気 (自家消費、PPA、自己託送等)	千kWh/年	0	1,588	786		
再生可能エネルギー電気 (小売電気事業者からの買電)	千kWh/年					
うち県内産	千kWh/年					

様式1号
(総括票)

1 1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績

(所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満	2	8,939	2	8,235				
1,500k1未満	2	1,594	2	1,409				
合計	4	10,533	4	9,644				

1 2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0	0		
CH ₄	0	0		
N ₂ O	0	0		
HFC	0	0		
PFC	0	0		
SF ₆	0	0		
NF ₃	0	0		
合計	0	0		

1 3 次世代自動車の導入状況

(台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイ ブリッド自動車	0	0		
電気自動車	0	0		
燃料電池自動車	0	0		
クリーンディーゼ ル自動車	0	0		
その他 (ハイブリッド等)	8	8		
合計	8	8	0	0
自動車総数	22	22		
次世代自動車導入 割合	36.4	36.4		

様式1号
(総括票)

1.4 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	・通勤に公共交通機関を使用している従業員にはその費用を100%会社が負担。
自転車の利用促進	・地域ぐるみISO研究会の環境一斉行動でノーマイカー運動に参加
来客者の交通対策／社用車等の移動に伴う取組	・来客される方へ公共交通機関を紹介している。 ・駐車場でのアイドリングストップの依頼。
電気自動車用充電設備の設置／電気自動車の導入	来客者用駐車場(本社、本店)の一角に電気自動車充電設備の設置計画をしている。(2023年～25年)
物流の合理化	・弊社物流子会社が共同輸送を実施。

1.5 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細	
	実施内容	実施年度
■ SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している	2020
□ TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している	
□ 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している	
	名称	
□ グリーンボンド・ESG投資	グリーンボンドを発行している又はESG投資を実施している	
□ ZEB	の認証を取得している	
■ ディマンド・リスポンス (DR)	電気の需要の最適化に資する措置 (上げDR・下げDR) を実施している	2023
■ その他	旭松バイオセンター自社汚泥肥料化、農業利用で資源循環。	2017～

1.6 自由記載欄（特に重点的に取り組んだ内容やアピール事項等）

- ・廃棄物の細分別。
- ・家庭における省エネ取り組みの啓蒙。
- ・セミナー受講の推進。
- ・グリーン購入の推進。一部導入。
- ・エアコン導入時にフロン (R32) の選定。
- ・環境一斉行動の具体的な取組み内容の展開。
- ・クールビズ、ウォームビズ。
- ・外部企業環境監査。
- ・省エネ基準確認した設備の導入。
- ・漏気定期調査、照明手元スイッチ化、不要機器の電源OFF、インバーター制御の推進。
- ・仕掛け品、材料に対する廃棄物排出の削減。
- ・リサイクル研究会、地域ぐるみ環境ISO研究会等への参画。
- ・社内報での省エネ温暖化記事定期掲載。
- ・FSC認証カートン利用製品の展開。
- ・熱源の高効率化。
- ・デマンドレスポンスの実施。